

3) 高等教育支援（県内大学等）講師派遣事業

徳武浩司¹

キーワード： 大学生 高等教育支援 公開講座

1. はじめに

本事業は、沖縄県における高等教育を支援することを目的とし、受講者の沖縄の歴史や自然への理解、環境保全への意識向上、かつ財団事業への関心向上に資するものである。これにより次世代の担い手を育成し、産業振興へ貢献へとつなげる。

平成 27 年度より県内の大学において実施を開始、今年度は大学側のガイドラインに基づき、琉球大学及び名桜大学において対面講義を行った。



写真 2：名桜大学における実施風景

2. 実施報告

1) 実施内容

①琉球大学：全学部生を対象とした、単位付与を伴う選択科目講座「沖縄美ら島財団の地域資源活用論」が開講され、前期（4～7 月）期間に講師を派遣、対面講義を行った。

②名桜大学：在学生のみならず、一般も対象とした開講された公開講座に講師を派遣、対面講義を行った。

両大学における各回の講師と講義内容などは表-1 の通りであった。

講義内容は、海洋博公園、沖縄美ら海水族館、首里城公園などの施設管理や、亜熱帯性動植物および歴史文化の調査研究の成果であり、実際に携わってきた当財団の職員が講師となった。

2) 実施結果

①琉球大学：合計 13 回の講義を行い、延べ 1, 181 名が受講、前年比は 136%であった。



写真 1：琉球大学における実施風景

②名桜大学：10～12 月に合計 10 回の講義を実施。延べ 204 名が受講した（前年未実施なため比較なし）。

3) 今後の展開

今後、アンケート内容を再検討し、受講した学生の進路等への影響について調査を行い本事業の発展に繋げていく。また、対象については大学にこだわらず、定期的な複数開催であれば一般企業や専門学校などもその対象とする。

3. 外部評価委員会コメント

琉球大学の受講者も増え、名桜大学も再開されたことから、成果が上がっていると思われる。その後の大学での学びへの変化、また卒業後の職業にどのように活かされているか、アンケートを実施してもらいたい。（後藤顧問：南山大学教授）

¹ 普及開発課

表-1 各校における日程及び演題などの一覧

場所	回数	日程	区分	タイトル	所属	講師名	参加人数	人数合計
琉球大学	1	4月20日	沖縄の生きもの	サメやエイの基礎知識と保全に向けた飼育	魚類課	松本瑠偉	98	1181
	2	4月27日		沖縄の両生類・爬虫類	海獣課	笹井隆秀	95	
	3	5月11日		ウミガメの生態と保全	魚類課	前田好美	95	
	4	5月18日		沖縄近海の魚類相	動物研究室	宮本 圭	84	
	5	5月25日		沖縄の鯨類について～基礎的情報から最新の研究成果まで～	動物研究室	小林希実	96	
	6	6月8日	沖縄の植物	在来植物を利用した新品種開発プロジェクト	植物研究室	佐藤裕之	93	
	7	6月15日		沖縄の野生植物の多様性と保全	植物研究室	阿部篤志	92	
	8	6月22日		熱帯植物を活用した展示装飾	植物課	島袋林博	97	
	9	6月29日		沖縄の都市緑化木の病虫害	植物研究室	辻本悟志	72	
	10	7月6日	沖縄の歴史文化	琉球王国の歴史とその背景	琉球文化財研究室	幸喜 淳	87	
	11	7月13日		琉球・沖縄の食文化	琉球文化財研究室	久場まゆみ	100	
	12	7月20日		琉球・沖縄の糸がつくりだす布と衣	琉球文化財研究室	宮城奈々	82	
	13	7月27日		琉球・沖縄の船にまつわる文化について 西表島の丸木舟製作技術と利用法	企画運営課	板井英伸	90	
名城大学	1	10月4日	沖縄の生きもの	沖縄のサンゴとサンゴ礁	総合研究所統括	野中正法	23	204
	2	10月11日		サメやエイの基礎知識と保全	動物研究室	富田武照	16	
	3	10月18日		沖縄の魚類多様性	動物研究室	宮本圭	9	
	4	10月25日		ウミガメの生態と保全	魚類課	前田好美	11	
	5	11月1日	沖縄の歴史文化	琉球の瓦文化	琉球文化財研究室	鶴田大 嘉手刈	20	
	6	11月8日		文化財の復元事業	琉球文化財研究室	幸喜淳	20	
	7	11月15日		琉球音楽と楽器	琉球文化財研究室	佐久本純	17	
	8	12月6日	沖縄の植物	沖縄の野生植物の多様性と保全	植物研究室	阿部篤志	32	
	9	12月13日		在来植物を利用した新品種開発プロジェクト	植物研究室	佐藤裕之	27	
	10	12月20日		沖縄在来野菜の科学	植物研究室	砂川春樹	29	